



# 一麦だより

No. 3

2025.6.2

## 支えられていることを覚えて

木々の葉が豊かになり、緑が濃さを増してきました。園庭のジュンベリーはたくさん実を付け、イチジクの実も育ってきています。日中の汗ばむ陽気に夏が近づいてきていることを感じるこの頃です。

4月からの2ヶ月で子どもたちはそれぞれに成長し、様々な出会い、気づきがあり、自ら新たな展開へと進もうとしているようです。6月は梅雨の時期、蒸し暑くなり、少し憂鬱でうっとうしく感じる季節かもしれません。しかしこの雨の季節に見られる光景、感じられることこの季節ならではの恵みがあるはずです。

「わたしは植え、アポロは水をそそいだ。しかし成長させて下さったのは神である」

(新約聖書 コリントの信徒への手紙一3章6節)

雨は植物を成長させ、動物のいのちを繋ぎ、成長へと導きます。子どもたちにとって、この季節も大切な新たな恵みを与えられることを信じ、願いつつ歩みたいと思います。

今年4月西宮市は市制100年を迎えました。1925年当初の西宮市は西宮戎神社や現在市役所がある地域一帯だけでした。後に近隣の村々が併合され現在の西宮市になりました。一麦の創立者賀川豊彦先生は1926年10月家族と共に瓦木村へ移り住まれました。大阪、神戸へ出かけやすいこと、樹木や自然が豊かで子どもたちにとって良い環境であること、少年時代を過ごした吉野川付近と武庫川の風景が似ていたことなどを理由として記しておられます。また阪神間の中央になり比較的温暖なため冬期福音学校(農民福音学校)を開くのに適した土地であるとも記しています。1927年にこの学校が開設され、そのために建てられた一麦寮は、1932年創立の保育園の最初の園舎として使われました。1932年創立当時、一麦保育園の住所は武庫郡瓦木村字高木でした。1942年に瓦木村は西宮市に併合されました。

創立間もない一麦保育園で幼少期を過ごした卒園生で、最近まで長く一麦保育園をサポートして下さった方がおられました。腕利きの大工として多くの職人の方々と一緒に建築関係の仕事に携わり工務店も営んでこられました。特に木材の目利きと知識はピカイチだったと一緒に仕事をされた方が仰っていました。仕事の傍ら、また一線を退かれた後、一麦保育園はじめ幼小の子どもたち向けに木で遊具を製作して届けてくださいました。一麦保育園の子どもたちが園庭で遊ぶ「一本下駄」「やっこ」、部屋で遊ぶ「積み木」や「輪投げ」など木製遊具の多くがそうです。保育室で使う棚や家具などの製作もお願いしてきました。時には豚汁やカレー、焼き芋を作るときの薪や食材など「いいのがある」と言って届けてくださったこともありました。豚汁パーティなどに招待すると子どもたちと食事をし、優しい笑顔で話しかけて下さいました。80年以上前の在園時のことや、創立者賀川豊彦先生のこと、後に園長となられた植生操先生のこともお話しくださったことがありました。ご近所でしたので一麦の歩みを見守って下さっていたことと思います。この春まで一麦のことを気にかけて時々訪ねてくださっていましたが、先日92歳で召されました。自身が卒園した一麦保育園のことを長く思い続けてくださりサポートして下さったことを覚え、感謝と敬意を表します。

西宮市が始まって間もなくこの地で歩み始めた一麦が、90年を超える歴史の中で卒園生や近隣の方々に支えられてきたことを改めて思います。このことを覚えて、これからも卒園生が思いを寄せ、サポートして下さる園であり続けることを願って、日々の保育を大切にしていきたいと思います。

< 今月のお知らせとお願い >

◆ 行事予定

- ・ 2日(月) 乳児個人懇談(～6/20)
- ・ 6日(金) 歯磨き指導(幼児クラス)
- ・ 7日(土) いちごぐみクラス懇談会(9:00～)
- ・ 14日(土) さくらんぼぐみクラス懇談会(9:00～)
- ・ 16日(月) シャワー開始
- ・ 19日(木) 乳児検診(15:45～)
- ・ 23日(月) 宇田先生(育児コンサルタント)来園
- ・ 24日(火) お誕生日会
- ・ 27日(金) おたのしみデー(5才児)
- ・ 28日(土) みかんぐみクラス懇談会(9:00～)

◆ お知らせ

1. 虫よけ剤の使用について

蚊などの虫が出てくる季節となりました。保育園では症状のひどいお子様には、ローションやシートなど皮膚に塗布するものは許可しています。(園でのスプレーの使用は不可です。またパッチ状のものは、誤飲する可能性がございますのでご遠慮ください。)

塗布するものも登園前にご家庭で塗ってきて下さい。

医師の診断のもと、シャワー後も塗布の必要がある場合のみ対応させていただきますので、「医師の与薬証明書」及び「与薬依頼表」にご記入の上、担任にお渡し下さい。

(用紙は園にございます)園で虫に刺された場合、「ムヒ」を塗りますが、お子様の皮膚がかぶれたりアレルギー症状が出る等の可能性がある場合には、あらかじめお申し出下さい。

※虫さされ後のパッチの方も同様に誤飲の恐れがありますのでお控え下さい。

2. 注意点

この時期には次のような病気にかかることもございますので、その際は必ず医師の診断を受けて下さいますよう、ご協力よろしくお願いいたします。

- ① 皮膚疾患・・・ とびひ、虫さされ、手足口病、アトピー性皮膚炎等、ジュクジュクした部位がある場合や、全身が赤くなっているかゆみがひどい場合は、保育園で他の子どもと一緒にプールに入ってもよいかどうか、医師から口頭で許可をもらってきて下さい。
- ② 水イボ・・・ つぶれたりしていないこと、Tシャツを着るなどで接触しなければ構いません。
- ③ ホクナリンテープ(気管支拡張剤)  
ホクナリンテープを貼って登園されている方は登園時にその旨を担当までお知らせください。貼ったままではプールができません。  
シャワーを行うことは出来ませんが必ず貼っている事をお知らせ下さい。  
乳児クラスに関しては誤食の危険性から貼って登園することはご遠慮下さい。また保育士が剥がしたり貼ったりすることは、医療行為となりますので出来ませんので、よろしくお願いいたします。
- ④ 頭ジラミ・・・ 医師に駆除の確認及び許可をもらってきて下さい。  
成虫を駆除し、髪の毛に卵が付いていないことを確認の上登園下さい。

- ⑤ アデノウィルス・・・アデノウィルスには多くの種類があり、それぞれの型で発症する症状が異なるので、病名も複数あります。病名としては、咽頭結膜熱(プール熱)、流行性角結膜炎、呼吸器感染症、出血性膀胱炎、胃腸炎などです。このうち、咽頭結膜熱(プール熱)と流行性角結膜炎は、学校保健安全法上の学校感染症で登園・登校禁止となり、治癒後の登園には、医師の証明による登園可能証明書が必要です。医療機関でアデノウィルスによる病気と診断された場合は、この2つに該当するか確認をして下さい。咽頭結膜熱(プール熱)は主要症状がなくなった後2日経過してから、流行性角結膜炎は症状が消失し感染のおそれなくなることが登園の目安になります。(不明な点がございましたらお知らせ下さい)
- ⑥ その他・・・ 発熱・下痢・嘔吐・咳・目ヤニが多い、感染症が疑われる症状が見られた場合は受診、場合によっては、検査受験をお願いします。

今年の夏も暑さが厳しい予報ですので、早寝早起き、朝食をしっかりとする等、子どもたちの体調管理のご協力をよろしくお願いします。